



大佛次郎没後50年
記念キャラクター
「ペンねこ(2代目)」

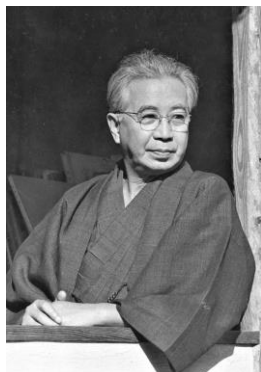
大佛次郎研究会

予定を変更する場合がありますので、ご来場の前に大佛次郎記念館ホームページ等で最新の状況をご確認ください。

第37回公開発表会

テーマ

「大佛次郎 没後 50 年 大佛文学を継承する」



2023年
5月27日(土)

◀大佛次郎(おさらぎじろう、1897-1973)
鎌倉・雪ノ下の自宅にて 1963年(昭和38)

大佛次郎没後 50 年記念講演 「大佛次郎の時代小説に見る歴史観」

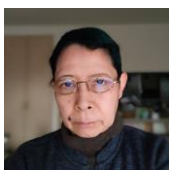
田中 優子(たなか ゆうこ) 前法政大学総長



大佛次郎は、江戸時代初期を描いた『赤穂浪士』『由比正雪』、江戸時代後期を描いた『鞍馬天狗』『安政の大獄』、そして明治時代の横浜を描いた『霧笛』など多くの歴史小説を執筆している。そこには、それぞれの時代への視点と、近代に生きた作者自身の価値観が明確に表れている。そこに通っている価値観はどういうものなのかを、江戸時代や明治時代の実際の動きと照らし合わせながら、皆さんと共に考えてみたい。



講演「大佛次郎賞の50年」 大上 朝美(おおうえ あさみ) 元朝日新聞記者



大佛次郎が1973年4月30日に亡くなると、朝日新聞社は同年10月1日、「大佛次郎賞」の創設を朝刊1面で告げた。小説のほか戯曲、評論、ノンフィクション、歴史記述、ルポルタージュなど、大佛次郎の幅広い業績に鑑み、「その形式のいかんを問わず、すぐれた文学作品に贈る」と掲げた。部門を分けるのではなく、同じ土俵で違うジャンルの著作を比べるというユニークな賞の、50年の歩みを振り返ってみる。

日 時: 2023年5月27日(土) 14時00分~16時30分(予定)
(開場 13時30分)

会 場: 神奈川近代文学館ホール

横浜市中区山手町 110 (港の見える丘公園内)

- みなとみらい線「元町・中華街」駅下車、徒歩10分
(6番出口からアメリカ山公園経由: エレベーターあり、
または5番出口から谷戸坂へ)
- バス路線「港の見える丘公園」下車、徒歩3分
神奈川中央交通① 桜木町駅~保土ヶ谷駅東口
横浜市営バス② 山手駅~桜木町駅

入 場: 先着 200 名様 (資料代 500 円)

当日、会場へ直接お越し下さい

(プログラム内容に変更のある場合があります。予めご了承ください。)

主催: 大佛次郎研究会

共催: 大佛次郎記念館

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

<http://osaragi.yafjp.org>

後援: 神奈川近代文学館

(公益財団法人 神奈川文学振興会)

お問い合わせ: 大佛次郎記念館

TEL: 045-622-5002

FAX: 045-622-5071